

エンタープライズアプリケーション向けソフトウェア構成・変更管理ツール

Dimensions CM

Dimensions CM は、エンタープライズアプリケーション向けのソフトウェア構成・変更ツールです。資産や情報を一元管理して共有する環境を構築し、開発の効率化と可視化を実現します。複数の開発拠点やプラットフォーム環境によって複雑になりがちな分散・並行開発において、不具合や手戻りを削減して高品質なアプリケーションの継続的なリリースを支援し、ビジネススピードの向上やコンプライアンスへの対応も可能にします。また、Dimensions CM はアジャイル開発プロジェクトにも適用でき、開発手法に依存しない構成・変更管理のプラットフォームを提供します。

製品の特長

1. ソフトウェア構成管理と変更管理を統合

Dimensions CM は、ソフトウェアの構成、変更、ビルド、リリースの各エリアを統合して包括的に管理します。アプリケーションの開発からリリースまでのライフサイクルにおいて、安定した継続性、トレーサビリティ、整合性を確保します。不具合が含まれた成果物、ビルドやリリースの承認履歴、さらに変更理由などを簡単にトラッキングできます。強力な柔軟なベースラインでプロジェクトマイルストーンと関連する成果物を管理し、ロールバックやリカバリーを確実に実行できます。

2. エンタープライズスケーラビリティ

Dimensions CM は、数千人の同時ユーザー、数百万テラバイトのストレージ、数百万のファイルリビジョンなどを抱える大規模なプロジェクトでも運用できます。地理的に分散された開発環境や開発規模に依存せず、メインフレームからモバイルまでの複数プラットフォーム、オフショアやアウトソーシングなど、グローバルに分散した複数のチームで、数百ものアプリケーションを開発するケースでも多く利用されています。

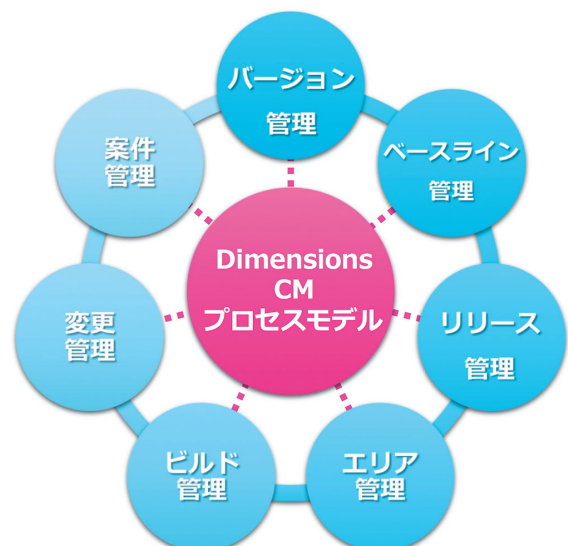
3. ツールチェーンの自動化

Dimensions CM は、CI（継続的インテグレーション）ツールをはじめ、ビルド、コードのスタイルチェック、コードの分析、セキュリティまたは脆弱性診断などのツールと連携してツールチェーンを自動化し、アプリケーションの品質確保とプロセス管理の簡易化を実現します。また、その結果を集約し、ダッシュボード上で KPI やメトリクスとして確認できます。

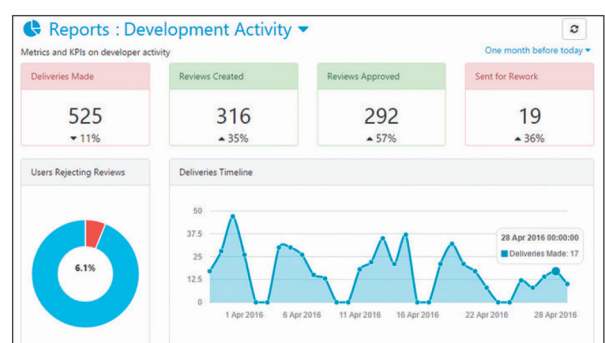
4. ライフサイクルの統合管理とコンプライアンスへの対応

ソフトウェア開発の要件管理から開発、デリバリーまでのライフサイクルにおいて、要件管理やテスト管理などのツールを利用している場合、それらの既存ツールと連携することで、ライフサイクル全体を包括的に管理する可視性の高い環境を構築できます。また、履歴と監査証跡を自動的に記録するため、コンプライアンスや監査に必要な準備や労力を最低限に抑えることができます。

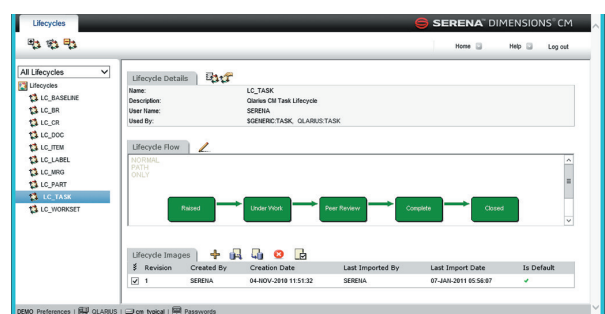
Dimensions CM は、要件管理ツール Dimensions RM やデプロイメント管理ツール Deployment Automation に加え、多くのサードパーティーのツールと連携可能です。



ソフトウェア構成管理と変更管理を統合



結果を集約したダッシュボード

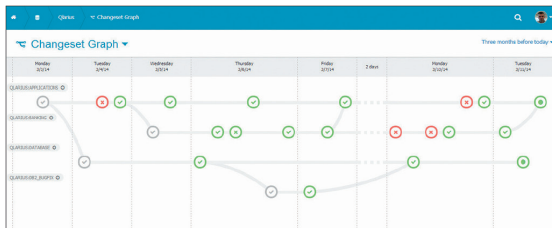


TASK のライフサイクルフロー

主な機能

1. 開発ストリームの可視化

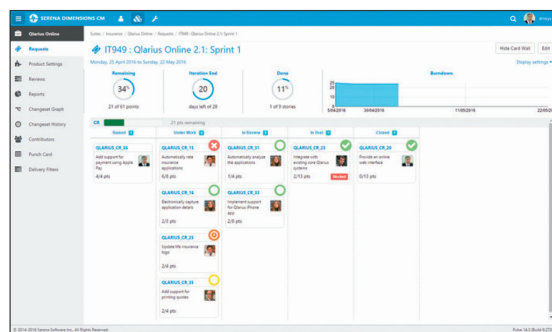
開発ストリームやブランチ、依存関係をグラフィカルなタイムラインビューで可視化します。デリバリーのステータスや関連するビルド、ピアレビューなどの必要な情報へのアクセスが簡潔になり、手戻り作業や競合部分の削減、チームのコラボレーションの強化、ビジネススピードの向上を実現します。



可視化されたブランチ

2. アジャイル開発への対応

アジャイル開発手法に則った構成・変更管理ができます。バックログを優先度順に整理し、スプリント（反復）の開発に割り当てます。インタラクティブなカードウォールを使用して、開発リクエストのステータスを可視化し、管理します。



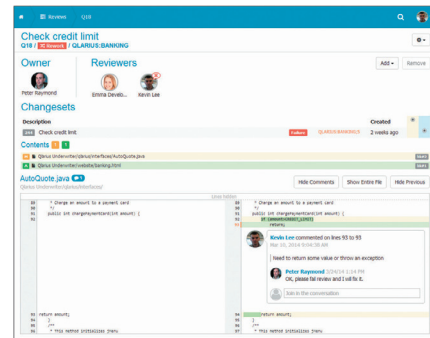
カードウォール

3. ツールチェーンによる統合と自動化

他のツールと連携することで、優先ビルド、コードのスタイルチェック、コード分析、セキュリティまたは脆弱性診断などを、設定した順序で自動実行します。このツールチェーンで実行された結果は、ダッシュボードのKPIまたはメトリクスで集計されます。また、コードレビューはインラインで分析コメントの共有ができます。

4. コラボレーション ピアレビュー

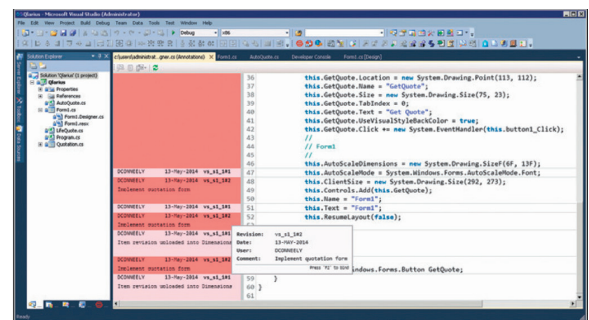
プロジェクトチーム間でのベストプラクティスの共有や、リアルタイムでコミュニケーションが取れるピアレビュー機能により、チームメンバーのコラボレーションを強化します。開発プロセスとレビュープロセスを連携させることにより、開発のスムーズな進行と成果物の品質向上に役立ちます。Dimensions CM は、ビルトインされたピアレビュー機能と可視化されたコードブランチを組み合わせることで、円滑な情報共有と生産性の向上を図ります。



ピアレビュー機能

5. アノテーション（注釈）ビュー

ソースファイルのコード内にアノテーション（注釈）を付けることで、変更の発生箇所を容易に発見できます。アノテーションビューによって、変更された履歴とコードを分析することができます。それには、誰からのリクエストか、どの作業項目によって修正されたのか、などの情報も含まれます。変更理由を把握することで、トラブルシューティングにも役立ちます。



アノテーションビュー

6. 統合開発環境（IDE）へのアドイン

Visual Studio や Eclipse などの統合開発環境（IDE）ツールと統合できます。直接それらのツール上から、変更やブランチの可視化、コラボレーション、ピアレビュー、アノテーションビューへのアクセスができるため、開発作業のフローを止めることなく使用できます。また、Safari のサポートが追加されたことで、Mac OS X から Dimensions CM が利用できます。

7. ライブラリーキャッシュとデルタ（差分）ファイル転送

ライブラリーキャッシュを使用し、地理的に分散した開発チームにおけるファイルアクセスを大幅に高速化します。また、変更されたファイルのセクションのみを転送することで、ネットワークトラフィックを削減し、分散したサイトやネットワーク遅延があるエリアでも最適なパフォーマンスを確保します。

8. Docker インテグレーション

Dimensions CM とコンテナ管理ツール Docker を連携することで、Docker プライベートリポジトリを安全にコントロールできます。すべての成果物は、完全なトレーサビリティを持ったイメージとしてデプロイされます。変更管理が適用されることで、イメージの承認が確実に行われます。